

第38回卒業証書授与式 式辞

桜のつぼみもふくらみ、春の息吹が感じられる今日の良き日、向井PTA会長様をはじめ、日ごろより本校教育の推進に大変お世話になっているご来賓の方々のご臨席と、多数の保護者の皆様方のご列席をいただく中で、広島市立落合中学校 第38回卒業式を挙行できますことを、教職員を代表いたしまして、お礼を申し上げます。ありがとうございます

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

先ほど君たちに卒業証書を授与いたしました。君たちの目の輝きにすがすがしい気持ちを感じました。君たちはこの3年間、ご家族と一緒に頑張ってきた仲間、地域の方々、本校で出会った先生方に励まされ、たくさんのことを学び、そして多くの苦難を乗り越えてきました。

私は君たちと出会ういくつか心に残っていることがあります。後輩たちをまとめ成功に導いてくれた体育祭。また合唱祭での全体合唱「友、旅立ちの時」では君たちのパワーが力強くよみがえってきます。そしてこの落合中学校に「無言集合・無言解散」という新しい風を吹き込んでくれました。君たち一人一人の高い意識が感じられました。

さて、皆さん、この落合中学校を卒業するにあたり、これからやりたいこと、夢や希望をそれぞれ持っていることと思います。高知県出身で、幕末に活躍した坂本龍馬は次のような言葉を言っています。「人の道には一つということはない。道は千も万もある」と。この言葉のように、いつも希望や夢をもって生きてほしいと思います。君たちには未来があります。私は普段から「学びから逃げない」というメッセージを送ってきました。それは人は一生学ぶ生き物で、自分の幸せをつかむためにはいつも学んでほしいと思うからです。これからも新しいステージで大きく羽ばたき活躍することを期待しています。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、本日はおめでとうございます。皆様の大切なお子さんを3年間お預かりいただきましたが、私どもの力不足で、ご期待に添えなかった点、多々あったと思います。しかし子どもたちは皆心優しい人間として成長してくれました。これも保護者の皆様の学校に対するご理解とご協力のおかげと深く感謝いたします。ありがとうございました。

ご来賓の皆様、地域の皆様、本日はご多用の中、式典に参列いただき、誠にありがとうございました。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。卒業していく子どもたちにはまだまだ多くの支えが必要です。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん、いよいよお別れです。

皆さんの将来に幸多かれと祈り、式辞といたします。

平成26年3月12日 広島市立落合中学校長 原之園 和弘